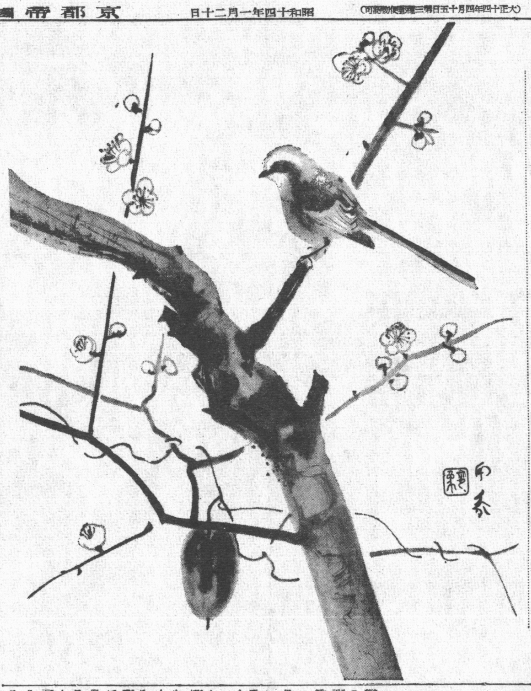
京都帝國大學新聞
昭和十四年一月二日
第二百九十一号



春の鳥

堂本印象

# 革新の諸問題

## 思想と革新

枝博音

## 新年漫筆

### —科學者の書齋から—

駒井卓

## チヤーナリズムの革新

### 新聞の指導性と統制の關聯

阿部眞之助

## 革新政治の基調

### 國民再組織の必然性と方向

黒田覺

謹賀新年
京都帝國大學新聞
編輯部一同
經營部一同

丸善の新刊及重版
少年保護要論
機械設計
機械工學
有用木材の性質及用途
電氣化學の理論及應用
漫透劑及漫透性試驗法
古本高價買入
進文堂書店
岸本器械店
わかはや寫眞機店
カメラ
パンX
オリエンタルフィルム
クローム
東山食堂
クレモナ
丸善株式會社

京都帝國大學新聞　昭和十年一月二十日（日曜日）　第二百九十一号

# 國際情勢概觀（歐米）

◇◇根本的危機は依然存續◇◇

神川彦松

一九三五年の歴史は既に二月に入つた。一九一四年の夏から一九一八年の秋まで四年間に亘つて續いた一大戰爭の後遺症は、今日なほ世界の隅々に殘つてゐるが、その中でも最も重大なものは、一九三五年の國際關係を根本的に支配するであらう二つの問題である。その一つは、伊太利のエチオピア侵略問題であり、他の一つは、獨逸の再軍備問題である。

# 豪華なスポーツ陣
## 年末、年始にかけて展開
## 本學側何れも惜敗

# 來る十四日總長會議招集
## 羽田、平賀兩氏就任を機とし大學の時局協力を要請

# 育英事業へ一石
## 貧困學生の積極的救済に學生課いよ〳〵本腰

# 生活の調べ (5)
## 職場通信

# 健康増進に萬全の策
## 文部省からお達し

# 健康相談所
## 診療時間變更

# 物價暴騰よ何處へ
## 學生食堂の非常時來る

# 就任記念講演
## エツカルト氏

# 「日」「米」學生會議中止か
## 今夏の開催憂慮さる

# 大學を論ず (三)
安住健太郎

# 感情を動かさぬ冷たさ
## 一記者の持つ文化機關等は紙面の一上に何程の作用をも持ち得ないか


謹賀新年
財團法人 田附興風會 北野病院
景山内科　小兒科
劉内科　皮膚泌尿器科
石田内科　耳鼻咽喉科
整形外科
外科　脳神經病科
産婦人科　レントゲン室
眼科　藥局事務室
財團法人田附興風會醫學研究所
昭和十四年元旦　大阪市北區西扇町北ノ三
電話北ノ八六〇番

謹賀新年
財團法人 田附興風會 北野病院
景山内科　小兒科
劉内科　皮膚泌尿器科
石田内科　耳鼻咽喉科
整形外科
外科　脳神經病科
産婦人科　レントゲン室
眼科　藥局事務室
財團法人田附興風會醫學研究所
昭和十四年元旦　大阪市北區西扇町北ノ三
電話北ノ八六〇番

謹賀新年
上田寫眞器店
寫眞の事なら何でもいつでも最御利用下さい
技術萬全第一
電話北ノ八六〇番

賀正
春……こゝろに
赤い夕陽の丸かな
自慢に赤い日の丸が
はゝ、笑ひ合うように
なびいてる
皆様と共に
この春を
祝しませう
新京極
正宗ホール
電話本局 八二五番
館圖まとゞ館

謹而皇國隆昌の
新春を壽ぎ奉る
千歳には特別の御愛顧御引立を賜り
有難く厚く御禮申上げます
恰も東亞百年の建設に御邁進の秋、
御銃後の百貨御給仕命迸成に至
優努力致しますれば何卒本年も倍
增して一層御引立御愛顧に與ひ
申上げます。
昭和十四年元旦
京都 高島屋

ミカドペン

語學講座
中集募生聽講
フランス語
フランス文學
フランス科學
普通部（初中等・男女共）
專門部
女子部（高等女學校卒業程度）
佛語醫學
無料公開講義
フランス手藝・料理
教授　伊邦人
多多
數數
日佛學館
關西
條一東・田吉
二西・上電

## 文學

# 農民文學の擡頭とその動向

〈覺書〉

窪川鶴次郎

## 京都への手紙

——石田孝次教授へ——

戸川秋骨

## 私の大學

## 卅七度二の青春

武田麟太郎

## 文學の革新

☆……革新の性格……☆

中野重治


謹賀新年

営業目科
一般衛生工事
水道衛生機械器具
換氣冷房暖房
病院消毒裝置
機械……器具
汚水浄化裝置

合資會社 大鳥居工業所
京都市下京區大宮通綾小路下ル
電話下(○)二四一五番

合名會社 松田商會
京都市下京區烏丸通四條下ル
電話下(○)二九一番

合資會社 神野工業所
本店 京都市下京區西洞院通四條下ル
出張所 大阪市北區堂島濱通壹丁目交叉點
天滿ビル二階
電話北三〇三一番

株式會社 城口研究所
京都出張所 京都市上京區天神通今出川上ル
電話(○)五五三五番
本店 大阪市東區道修町四丁目三番地
電話北二二八三番

科學器械
鑛山器械
度量衡器
計量器
中川製作所
京都市中京區寺町通二條上ル
電話(○)五三五三番
營業所 大阪市東區道修町四丁目三番地
電話東三〇一番

ミカドペン
くすりの御用は
開業藥劑師 東山藥局へ

聖戰に拓け行く
新春を壽く
芳醇の祝盃!!
銘酒 ※澤之鶴
石崎株式會社 京都支店

白井直眼鏡店
京都帝國大學醫學部眼科部
京都府立醫大病院眼科部
日本赤十字社病院眼科部
京都醫專病院眼科部
御指定所
特許調節眼鏡 印國光レンズ發賣元
京都帝大病院正門前
電話(北)二三七〇
(東)三〇七〇

眼鏡
所賣販都京府縣スイアヲ・ルーカ商會
吉川眼鏡店
本店 京都府京都帝大醫學部前
電話(北)二七八八番
支店 京都府京都帝大病院正門前
電話(東)三〇〇番
眼鏡直門
正確廉價
府立醫科大學眼科
帝國大學醫學部眼科御指定
赤十字社京都支部眼科

疲労恢復に
オリザニン
疲勞の原因は糖分の分解に依つて生じた乳酸が體内に蓄積するからであると言はれて居ります
ビタミンBiは乳酸の生成を防止すると共に過剰の乳酸を分解し疲勞の防止、恢復に顯著な效果を見ることは實に驚くべきものであります
從つてビタミンBiの專門家に於ける權威品たるオリザニンは疲勞恢復、衰弱體質に効能顯著のスポーツ等への應用が推奨されて居ります
劑形：錠・液・エキス・注射液各種
三共
東京・宮町　三共株式會社

最純硬質硝子
理學用諸器械
製造販賣
池本重助商店
大阪市東區道修町四丁目三番地
電話東四一八三五四番

# 使命遂行に邁進

## 各大學編制替を完了

## 慌しい時代相一入

一九三八年　大學・高校の横顔

# 學問のすゝめ

## 教養としての學問

分科的諸科學に生命を與へよ

本田喜代治

# 屏息した研究活動

## 高校文化運動を截る

# 文化諸部の聯携成る

## 汎校内的運動の結成によつて劃期的發展を目指す

# 總長に平賀博士

## 新春を迎へ東大刷新の氣漲る

## 新總長の手腕に期待

# 冬季高専大會

## 東西華かに終了

## 歴史の理解へ


石田眼科
河原町今出川南電停前

小山歯科醫院
光正山小

新藥・調劑・醫科用品
東山藥局
熊野神社停留所前
電話上３１１０番

公法雑誌
新刊書雑誌
ウスヰ書房

京都帝國大學新聞
戰ふ兵隊
揚子江艦隊

鍛へよ冬に
スキーはマキノへ
▶牧野ゆき　スキー船連絡　1圓60
江若ガソリンカー連絡　1圓66
▶比良山ゆき　江若ガソリンカー連絡　1圓10
▶朽木ゆき　江若ガソリンカー連絡　1圓46
好評・明朗な
マキノ山の家　(A)一泊二食付　1圓50　(B)一泊一食付　1圓00
豫約申込先
新學期より通學は京阪電車で
京阪電車案内所へ
四條通寺町西・電話(本局)2478

# 評論

## バッハオーフェン「母權論」

◇富野敬照氏の邦譯について

中川善之助

Johann Jakob Bachofen: Das Mutterrecht. Eine Untersuchung über die Gynaikokratie der alten Welt nach ihrer religiösen und rechtlichen Natur. 1861.

J. J. バッハオーフェン：母權論。古代世界の女人政治の宗教的及び法的性質の研究。一八六一年。

Bachofen, Das Mutterrecht. Eine Untersuchung über die Gynaikokratie der alten Welt nach ihrer religiösen und rechtlichen Natur. Neue Ausgabe. Herausgegeben von Karl Meuli. Basel 1948.

バッハオーフェン：母權論。古代世界の女人政治の宗教的及び法的性質の研究。新版。カール・メウリ編。バーゼル。一九四八年。

Bachofen, Das Mutterrecht. Eine Untersuchung über die Gynaikokratie der alten Welt nach ihrer religiösen und rechtlichen Natur. Neue Ausgabe. Herausgegeben von Karl Meuli. Basel 1948. Gekürzte Ausgabe in einem Band. Stuttgart 1954.

バッハオーフェン：母權論。古代世界の女人政治の宗教的及び法的性質の研究。新版。カール・メウリ編。バーゼル。一九四八年。一巻縮刷版。シュトゥットガルト。一九五四年。

Johann Jakob Bachofen: Das Mutterrecht. Eine Untersuchung über die Gynaikokratie der alten Welt nach ihrer religiösen und rechtlichen Natur. Auswahl und Einleitung von Hans-Jürgen Heinrichs. Frankfurt a. M. 1975.

J. J. バッハオーフェン：母權論。古代世界の女人政治の宗教的及び法的性質の研究。ハンス・ユルゲン・ハインリヒス編。フランクフルト・アム・マイン。一九七五年。

「母權論」は學者でなくても知つてゐる名前である。しかしこの書物を實際に讀んだ人は學者の中でも少ないであらう。それは讀まうとしても容易に讀めない書物だからである。

私が學生の頃、「母權論」を讀んだことを自慢する人があつたが、それは本當の讀み方ではなかつたであらう。

日本語譯がないから、第一讀書人口に膾炙しないのだといふ人があるかも知れないが、たとひ日本語譯があつても、この書物の讀み方は變らないであらう。

それは、この書物の内容が、ドイツ語で書かれてゐるからである。

ドイツ語で書かれてゐるといふことは、ドイツ人にとつては、ドイツ語で書かれてゐるといふことにすぎないが、日本人にとつては、ドイツ語で書かれてゐるといふことは、ドイツ人にとつては考へられないほどの困難を意味するのである。

ドイツ